

■外部評価事前質問シート(7月20日(水)開催分)

No	施策番号	質問事項	回答
1	施策14	文化スポーツ懸賞事業の予算額が令和3年度と4年度を比べると半減しているのはなぜですか。令和3年度(2021年度)はオリンピックパラリンピックがあったため、平年より突出して多かったということでしょうか。令和2年度の予算額(もしくは決算額、使った金額)はいくらだったのですか。	<p>本事業では、夏季オリンピックパラリンピック開催年に被顕彰者が増加する傾向を踏まえた予算積算を行っております。平年は、顕彰見込を個人1名+1団体としているのに対し、開催年にあたる令和3年度は、個人4名+1団体としたところです。</p> <p>なお、令和2年度も元々は開催予定年であったことから、当初予算額自体は令和3年度と同規模となっておりますが、結果的にオリンピックパラリンピックが中止となり、その他の推薦もなかったことから、顕彰実績はありませんでした。決算額は基金運用収入積立金の20円のみとなっております(なお、令和元年度当初予算額は94万8千円と、令和4年度同規模となっております)。</p>
2	施策14	一方、区民スポーツ普及振興事業の予算額は令和3年度と4年度を比較すると、ややレベルアップ。オリパラの翌年に必要な事業を担保しています。現在、新型コロナの感染者数が再び増加の兆しを見せていますが、「第7波」に入っても「区民の体力向上、カヌー大会などのスポーツイベントの開催」を行えるような工夫を考えていますか。	<p>「こどもカヌー大会」や「ファミリースポーツチャレンジ」などの区民スポーツ普及振興事業のスポーツイベントをはじめ、「江東シーサイドマラソン大会」など、区が主催するあらゆるスポーツイベントにおいて、感染症対策を徹底したうえで、開催する予定です。</p> <p>具体的には、検温所の設置や対面による受付を可能な限りなくすなどの対策のほか、シーサイドマラソン大会は例年より定員を2割削減し、スタート時の選手間隔1mを確保するとともに、着替えスペースや給水所の拡張、運行するバスの乗車定員を少なくするため、例年よりもバスの増便を行うなど、可能な限りの3密回避に努めてまいります。</p>
3	施策14	令和4年度に創設するスポーツボランティア登録制度の概要を教えてください。制度のねらい、どのように呼びかけるか、どのような年代層で何人くらいを考えていますか。	<p>スポーツボランティアの養成とボランティアの活動環境をコーディネートすることを目的に、希望する人に対してボランティアに従事するうえで必要な知識や心がまえを学んでもらうスポーツボランティア養成講習会を開催します。</p> <p>講習会受講者には、スポーツボランティアとして登録し、区の各種スポーツ事業を紹介することで、活躍の場を提供します。</p> <p>制度のねらいとしては、東京2020大会を契機に高まったボランティアニーズの受け皿を整備すること、スポーツにおけるボランティアを育成・確保することにあります。</p> <p>周知方法については、区報4月21日号や健康スポーツ公社ホームページ、公社Line公式アカウントの配信により広く呼びかけました。</p> <p>講習会は年6回実施し、高校生以上の区民130人を募集予定です。前期3回はすでに実施済みで、50人が受講しました。</p>
4	施策14	最近、NHKによる報道で、学校のプールの老朽化、および教職員の働き方改革に伴い、学校でのプール授業を民間や公共のスポーツ施設のプールを利用した授業に切り替えるトレンドが紹介されていました。江東区の状況について教えてください。	<p>外部プールの活用については、天候に左右されずに授業を実施できる点や、専門インストラクターによるきめ細やかな指導など、様々なメリットがあると認識しています。</p> <p>一方で、施設への移動にかかる時間や移動手段等の課題があるため、切り替えについては、これらの課題について、他自治体の取り組みを研究しながら検討していきたいと考えています。</p>

No	施策番号	質問事項	回答
5	施策14	<p>中高の部活を縮小、地域のスポーツ施設を利用した活動に切り替えるトレンドもあると聞いています。江東区では、そうした傾向はみられますか。</p>	<p>部活動について、文部科学省は休日の部活動について、地域へ段階的に移行する方針を示しています。本区においても、生徒が主体的に取り組む部活動および学校の働き方改革の推進に向けて「部活動の振興を図る検討委員会」において持続可能な部活動の在り方について検討を始めています。</p> <p>地域における運動や文化に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等を目指すうえで、地域のスポーツ施設等の利用については、今後検討していきたいと考えています。</p>
6	施策14	<p>施策の分析で、区民がスポーツを行う週単位の頻度をあげていますが、その根拠は、推進計画p24記載の区民希望に基づいている、という理解で良いでしょうか？ この区民希望の内訳など、詳細なデータがあれば、教えて頂けますか？</p>	<p>文科省ではスポーツ基本計画(H24策定)でスポーツ実施率に用いる頻度を週1回以上と定めており、東京都でも同様にスポーツ推進総合計画(H30策定)で週1回以上と定めています。</p> <p>本区もこれらの国や都との整合を図るため、週1回と定めております。</p> <p>一方、スポーツを「理想としては行いたい」という実施希望の内訳は、年代別にみると、10代が100%、60代が83.8%、70代が86.1%と、ともに8割を超えている一方、20代が78.1%、30代が76.7%、40代が75.9%、50代が78.5%と、現役世代は平均値(79.5%)を若干下回っています。</p>
7	施策14	<p>上記区民の希望と、指標の分析で記述されている女性、20代前半・30代前半の頻度との関係を知りたいと思います。頻度も少なく希望も少ないのか、頻度は少ないが希望は高いのか、等。</p>	<p>20代前半の女性のスポーツ実施率は29.4%、30代前半の女性は36.0%となっております。実施希望では、20代が78.1%、30代が76.7%となっております。</p> <p>実施希望には男女別データがないため、女性だけに着目した関係性の判断は難しい状況ですが、頻度は少ないものの、希望は高いものと考えます。</p>
8	施策14	<p>コロナ禍でも、何らかの運動ができるような工夫があったようですが、それはどのような取り組みでしょうか？例えば、オンラインマラソンとは、どのような取り組みでしょうか？</p>	<p>オンラインマラソンとは、スマートフォンの位置情報を活用した疑似マラソン大会で、参加者はスマートフォンを身に付けて各自が自分の自由な時間に一人でランニングを行い、その距離やタイムなどの記録を大会事務局に送信します。</p> <p>大会事務局ではその記録を審査し、問題がなければそのデータをもとに参加者に完走証を発行する形態のマラソン大会で、本区のほか世田谷区、板橋区、足立区、港区などが実施しております。</p>
9	施策14	<p>コロナ禍で、屋内よりも屋外施設を有効利用するという工夫や取り組みはありましたか？</p>	<p>深川スポーツセンターでは、屋外の多目的広場を活用し、「ヨガ」や「エアロビクス」を開催しました。</p> <p>令和3年度は全3回の開催で、6/25は24人、11/5は16人、3/18は13人の参加があり、令和4年度は全11回の開催予定で、5/21は2部制で39人、6/24は23人の参加がありました。</p> <p>定員を超える応募があり、参加者からは「屋外で安心して気持ち良く運動ができる」など好評を得ています。</p> <p>また、有明スポーツセンターでは、10月以降に、有明ガーデンの芝生広場にて「パークヨガ」(定員40人・全8回予定)を開催予定であります。(現在調整中)</p>

No	施策番号	質問事項	回答
10	施策14	スポーツと水彩都市としての観光資源を活かした具体的なスポーツの事例や実績等を教えてくださいませんか？	<p>①こうとうこどもカヌー大会 小学4～6年生を対象とし、旧中川・川の駅にてカヌーの200mスプリントレースを行っています。参加者(定員)は84人となっています。</p> <p>②障害者セーリングチャレンジ 下肢、視覚障害がある方を対象に、都立若洲ヨット訓練所と共催し、セーリング体験会を行っています。R3は5回開催し、延べ9人が参加しています。</p> <p>③豎川河川敷公園内カヌー・カヤック場整備 2011年7月に同公園内の水路を生かしたカヌー・カヤック場をオープンしました。本公園の運営は指定管理者制度を導入しており、民間ノウハウを活用しサービス向上と経費削減を図っております。 本施設は小学生以上のカヌー初心者を対象としており、常設指導員が指導しながら手ぶらでカヌーを楽しんでいただける施設となっております。 なお令和3年度は2904名が利用しております。</p>
11	施策14	障害者スポーツの取り組みが進んでいるようですが、先進的な事例などの実績等をご紹介いただけますか？	<p>○みんなでスポーツフェスタ(旧障害者スポーツフェスタ) 障害の有無に関わらず誰もが楽しめる障害者スポーツ体験・教室を実施しています。H30の参加者は2,190人です。</p> <p>○障害者カヌー教室 障害者がパラカヌーを体験できる教室で、R2の参加者は4人です(定員5人)。</p> <p>○車いすテニス体験会 障害者と健常者がともに車いすテニスを楽しめる体験会を実施しています。R3(3/27)の参加者は15人です。</p> <p>○ポッチャ出前講座(R4新規事業) エンジョイクラブ(特別支援学校を卒業した軽度知的障害者のグループ)の活動にスポーツ推進委員を派遣し、ポッチャの出前講座を実施しています。 参加者は5/22(浅間豎川小)16人、6/19(東陽小)12人です。</p>
12	施策14	事業概要一覧によれば、複数の施設で改修工事が行われるようですが、代替施設などはあるのでしょうか？	<p>区では長期計画に基づき、施設の改修工事を計画的に実施しております。 しかしながら、その改修工事に伴う代替施設の確保は行っておりません。 なお、夢の島野球場のクラブハウス改修工事の場合には、野球場自体の稼働は継続させるため、クラブハウス改修期間中はトレーラーハウスを代替施設として用意いたしました。</p>
13	施策14	区民のスポーツの取り組みについて「する」「みる」「支える」という視点が大変面白いと思いますが、これらの視点を軸にした評価はありますか？または、事例や実績などをご紹介いただけますか？	<p>現行の長期計画においては、区民の「する」の視点のみを指標としております。 実績や取り組みとしては、区はラグビーやバスケットボールのトップチームと連携協定を締結しており、ラグビーの試合では夢の島競技場での試合を区民無料招待とトップチームが行うなど、「観る」視点からの取り組みも実施しております。 また、「支える」では、今年度からスポーツボランティア研修会を実施し、前期50人が受講しております。 今後はボランティア登録制度を立ち上げ、受講者へ登録を呼びかけてまいります。</p>

No	施策番号	質問事項	回答
14	施策14	<p>推進計画p20課題の中に、こどもの運動定着と体力向上とありますが、現状、江東区の子供たちの運動・スポーツ環境や体力について、わかるデータ等があれば、ご紹介いただけますか？</p>	<p>こどもの体力については、長期計画施策6の指標に「全国体力調査で都平均を100としたときの区の数値」があり、小5と中2の男女別の数値を指標としています。  令和3年度は小5男子101.7/女子101.2、中2男子100.4/女子100.2と、いずれも令和元年度の数値より改善し、都平均を上回っています。  なお、スポーツ環境としては、区内4箇所(千石・辰巳・亀戸・南砂)に少年運動広場を整備するとともに、夢の島野球場内には少年野球場を2面整備しております。  令和3年度の区立スポーツ施設におけるこどもの延べ利用者数は個人利用52万人のうち、6万7千人余りとなっております。</p>